

【別紙】 令和4年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立里中学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	真剣に学ぶ生徒 人間性豊かな生徒 心と体を鍛える生徒
目指す学校像	生徒一人ひとりを大切に、グリットを高め 絆を深める里中学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者(教職員を除く) 3名 事務局(教職員) 3名
-----	---------------------------------

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 5 年 1 月 3 1 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	<p>【現状】学校経営方針の実現に向けて、概ね組織的に取り組んでいる。</p> <p>【課題】ステップルームから学級復帰へ向けた支援の一層の充実が必要である。</p>	<p>不登校生徒を解消する。(令和3年度不登校生徒数の割合3.4%)</p>	<p>①学級復帰を目指しながら、心の居場所となるステップルーム経営を地域と連携して行う。</p>	<p>【目標】登校生徒の解消に向けて、地域の力も借りながら組織的に取り組んだが、不登校生徒数の割合は3.4%から4.5%となった。(1/31現在)</p> <p>【方策】①今年度からはじめた地域と連携したステップルーム経営は概ね機能している。</p>	B	<p>【次年度への課題】ステップルーム経営の一部見直し。</p> <p>【改善策】ステップルームへの人員配置を工夫するとともに地域のシェアハウスと連携した取組を進める必要がある。</p>
教育課程	<p>【現状】GIGAスクール構想の推進は計画通り進めることができている。</p> <p>【課題】個別最適な学びと協働的な学びを実現し、より質の高い授業へと改善する必要がある。</p>	<p>端末の更なる活用を推進する。</p>	<p>①全教諭が自己評価シートに「端末を活用した取組について教科の目標・方策」を記載する。管理職の授業観察等を通してその実践の指導と評価を行う。</p> <p>②学習支援ソフトを活用する授業を研究し、校内授業研究会を行う。</p>	<p>【目標】授業での端末の活用率は市内トップレベルとなった。</p> <p>【方策】①校長の授業観察時の端末を活用した授業100%実施。授業後のフィードバック100%実施。全教員の授業の様子をHPに掲載。</p> <p>②学習支援ソフトを活用した授業研究会2回実施。</p>	A	<p>【次年度への課題】保護者の授業に対する満足度の向上。</p> <p>【改善策】研究を推進し、端末を活用した授業の質的な向上と学習支援ソフトを活用した不登校生徒や数学低位層の学力向上に資する取組を行う必要がある。</p>
開かれた学校づくり	<p>【現状】地域と連携した事業及びHP等を活用した教育活動の情報発信は計画通り進めることができている。</p> <p>【課題】地域との連携を一層強化する必要がある。</p>	<p>学校運営協議会を核とした地域とともにある学校づくりを推進する。</p>	<p>①地域と連携したボランティア活動、低位層受験対策、不登校生徒対応を行う。</p> <p>②小中・中高連携の体験活動を行う。</p>	<p>【目標】地域とともにある学校づくりは計画通り実施し、地域との連携を強化することができた。</p> <p>【方策】①6つのボランティア活動9回、数学低位層受験対策12月から6回実施。シェアハウスと連携した不登校生徒対応を開始。</p> <p>②小中連携体験活動(挨拶運動・部活動見学会・交流会)、中高連携体験活動(近隣高校4校と交流会)実施。</p>	A	<p>【次年度への課題】教職員の地域連携事業への参画意識の更なる向上。</p> <p>【改善策】生徒会活動との連携を強化する必要がある。</p>
教職員の資質向上	<p>【現状】端末を活用した授業、道徳の授業、学校行事、生徒指導、教育相談を概ね組織的に進めることができている。</p> <p>【課題】生徒のために学び続ける教職員集団であることが必要である。</p>	<p>生徒・保護者が一層相談しやすい学校づくりを推進する。</p>	<p>①生徒指導、教育相談、特別支援教育、LGBTQ等への理解を深める校内研修会を行い、教職員の専門性を高める。</p>	<p>【目標】研修したことを踏まえ、組織的に生徒指導、教育相談にあたったが、学校評価アンケートの肯定的な回答は、保護者83.8%から79%、生徒63.2%から64%となった。</p> <p>【方策】①校内研修会で学んだことを、教育活動に活かしている。</p>	B	<p>【次年度への課題】生徒一人ひとりに寄り添った指導の一層の推進。</p> <p>【改善策】管理職や各主任への報告・連絡・相談の徹底や研修等を通して、引き続き教職員の資質向上を図る必要がある。</p>
施設・設備等の管理	<p>【現状】施設設備を原因とする事故の未然防止は概ね計画通り進めることができている。</p> <p>【課題】コロナ禍で2年間、里小と連携した引き渡し訓練が実施できていない。</p>	<p>危機管理意識を高め、安心安全な学校づくりを推進する。</p>	<p>①毎月の安全点検を確実に実施し、修繕等の事後対応を市教委と連携して行う。</p> <p>②里小と連携した引き渡し訓練を5月に実施する。(雨天決行)</p> <p>③特別支援学級設置に向け教室環境整備を進める。</p>	<p>【目標】安心安全な学校づくりは計画通り実施し、全国健康づくり推進学校優良校、川口市学校安全優良学校を受賞することができた。</p> <p>【方策】①昨年度からの懸案事項であった修繕は終了。</p> <p>②引き渡し訓練を3年ぶりに実施。</p> <p>③特別支援学級環境整備は市教委と連携して進行中。</p>	A	<p>【次年度への課題】引き渡し訓練の一部見直し。</p> <p>【改善策】今年度の反省を踏まえた引き渡し訓練を辻小も含めて3校合同で実施する必要がある。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日 令和5年2月8日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・保護者の学校評価をWEB回答にしたことで、集計作業の負担軽減にはつながったが、アンケート回答率をあげていく工夫が必要である。	・不登校生徒の解消に向けて取組は評価できるが、特に不登校生徒が多い2年生に関しては、改善をする必要がある。
・部活動を楽しみにしている生徒も多いので、地域移行に向けて、指導者の確保や縦のつながりを広げることも考えられる。	・多くの行事を実施していただき感謝している。
・体育祭等も平日開催にすることは、教員の負担軽減につながる。協力していきたい。(在校時間月45時間以内を達成させるために)	・端末をさらに効果的に活用するために、教員のGIGA等を無線でテレビに映すことができる等、工夫が見られたことは高く評価できる。
・今後も端末を活用した授業の質の向上が必要であり、授業に対しての生徒、保護者の評価が上がっていくことを期	
・3月の地域連携美化活動については、民生委員も参加させていただきたい。	・不登校対策としてシェアハウスについては、保護者へ周知し、広く認知されていく必要がある。時間がかかる取組だと思うが、地域としても応援していく。
・課題のある生徒に対しては、保護者・地域との連携、情報共有を密にする必要がある。	
・全国表彰や川口市表彰など、安全指導を含めた取組は、評価できる。	・自動車に対しての取締り等厳しくなっているので、次年度は、交通安全教室(スタントマン等)を実施し、安全教育の更なる充実に向けていく必要がある。
・生徒にAED講習が実施できたら良い。	